

豊田市にお住まいの認知症の方とそのご家族のみなさまへ

「認知症の方も外出しやすいまちづくり」のための

3つの公共施設での

まちづくりモニター 大募集！

研究の目的および手法

目的

市内公共施設において、
トイレまでのサインが
わかりやすいかを調べます。

**あなたのご協力が、認知機能が低下しても
わかりやすいトイレづくりに繋がります！**

手法

研究モニターのみなさまに
下記の3つの市内公共施設の
「入口～トイレまで」を歩いていただき、
わかりやすさを確認します。
その後、「こうなったらわかりやすい！」
意見交換会(所要時間:1時間程度)を実施します。

- 1 豊田市役所 人 (西町3-60)
- 2 豊田市中央図書館 人 (西町1-200)
- 3 豊田市防災学習センター 人 (長興寺5-17-1)

【所要時間】

- ・各施設で実際に歩く時間 約10分、
- ・歩行時に見たサインについての聞き取り調査 約20分
- ・移動等も含めず、計3時間程度を予定

対象

豊田市にお住まいの認知症の方とそのご家族であって、

- ・重篤な視聴覚障がい、身体障がいの無い方
- ・施設内を自分で歩くことが可能な方(杖をご使用の方はご遠慮させていただきます)
- ・①～③の3つの施設を利用したことの無い方(又は1年以上利用が無い方)

軽度認知障がい(MCI)～認知機能中等度の方とその介護者の方 **先着5組**

※集まり次第終了となります

研究にご協力いただいた方へ

謝礼として

＼ **QUOカード** ！
2,000円分
全員にプレゼント

参加登録手続きはこちら



研究にご参加頂くには、
右の二次元コードから
登録手続きをお願いします。

認知機能が低下した方でも

「**わかりやすいトイレまでのサイン**」を
確かめる研究を行います。



わかりやすいトイレサインの必要性



「目的の場所はどこ？」「トイレはどこ？」

初めて行く所では、誰もが？ハテナの中で、さまざまな手がかりやヒントをつないで目的の場所にたどり着きます。

迷いにくく、わかりやすいトイレまでのサインにすることで、安心して外出をすることができるようになり、認知機能が低下しても、外出を楽しみ、社会参加を諦めずに済むことができると考えています。

研究について

豊田市では、認知症になっても、その人の持っている能力を引き出し、安心して出かけられる(社会参加できる)環境づくりを推進しています。今回のわかりやすいトイレサインづくりはその一環として、愛知工業大学と協力して研究を実施します。

参加するメリット

研究にご参加していただくメリットとして以下が考えられます。

- 1 サインの改善により、よりわかりやすいトイレを安全に利用できるようになります。
- 2 最後まで研究にご参加いただければ謝礼として2,000円分のギフト券を提供いたします。
- 3 将来、認知機能が低下した方が安心してトイレを使用するために結果が役立てられます。

研究参加の流れ



こちらの二次元コードから
参加登録手続きを
お願いします。

※豊田市役所に集合します

7月22日(火)午後1時30分～

- 事前説明 @豊田市役所
- 入口～トイレまで歩行

市役所から歩いて移動します

7月22日(火)午後2時40分～(予定)

- 入口～トイレまで歩行 @中央図書館

各自で防災学習センターまで移動します

7月22日(火)午後4時～(予定)

- 入口～トイレまで歩行 @防災学習センター

※午後5時ごろ終了予定

※別日に実施となります

8月27日(水)午前10時30分～11時30分
@防災学習センター

- 「こうだったらわかりやすい！」意見交換会